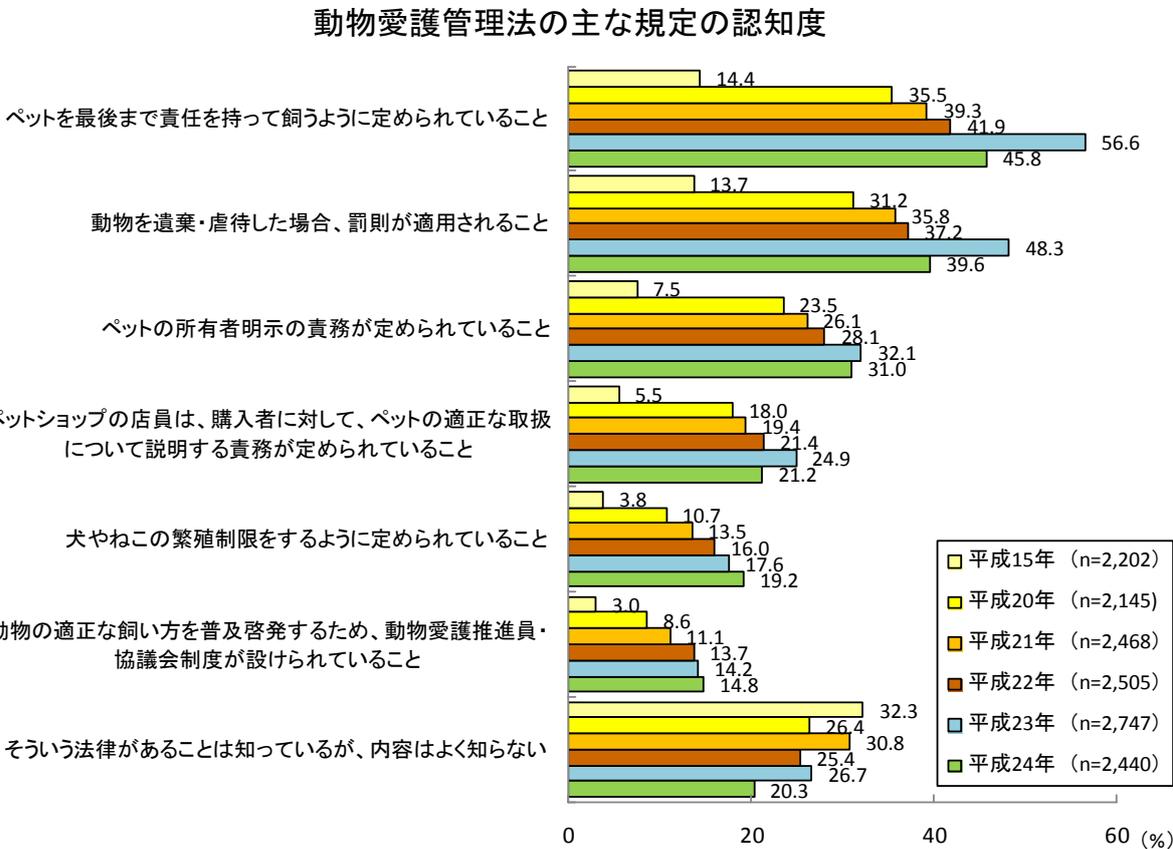
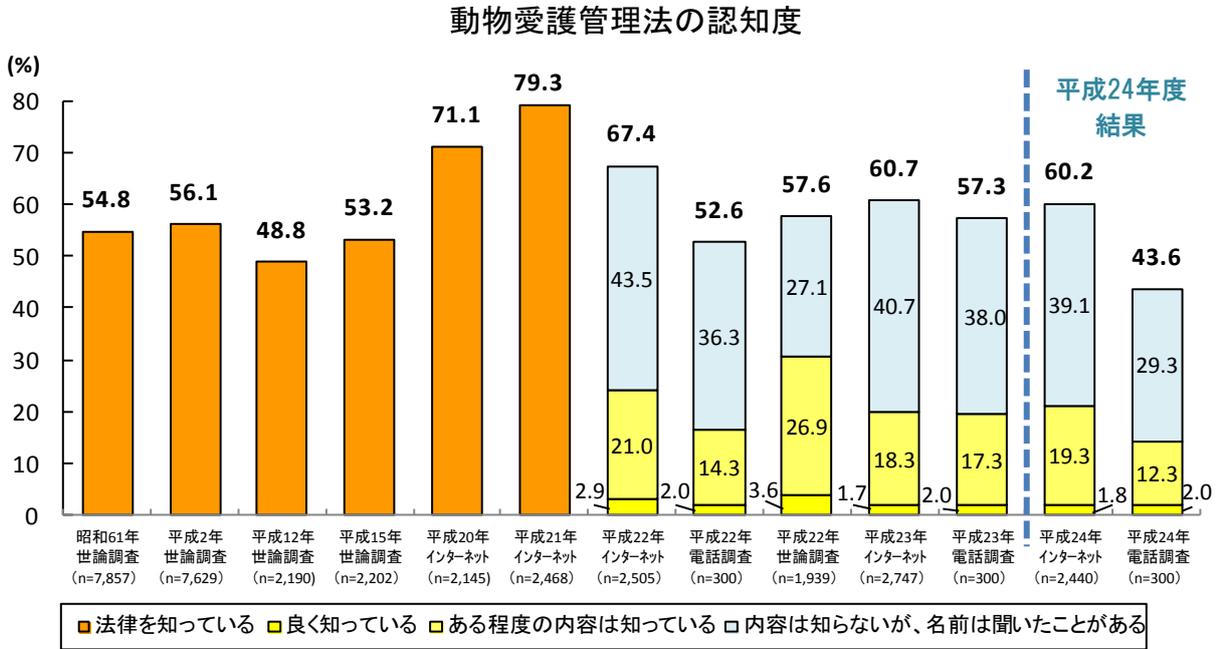


## 動物愛護管理基本指針の点検（第 5 回）について

### 図表資料

# 動物愛護管理法の一般認知度

○ 現時点で、国民の約 60%が動物愛護管理法を認知しているが、内容まで知っているのは約 21%にとどまる（インターネット調査）。



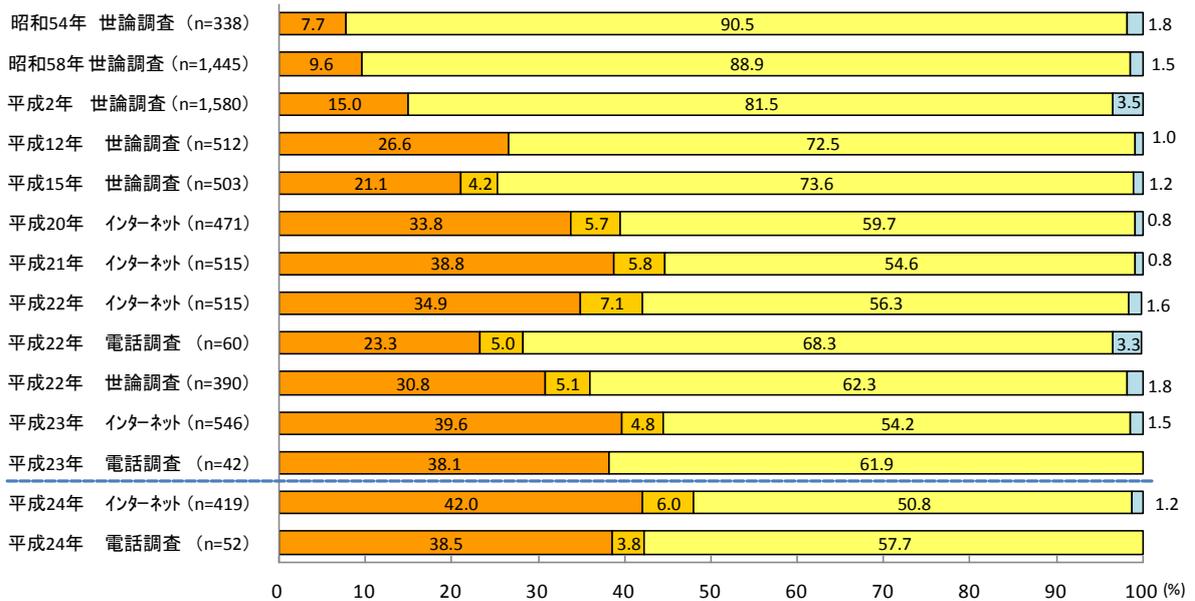
○昭和 61 年～平成 15 年、22 年 内閣府調べ（世論調査）

○平成 20～24 年 環境省調べ

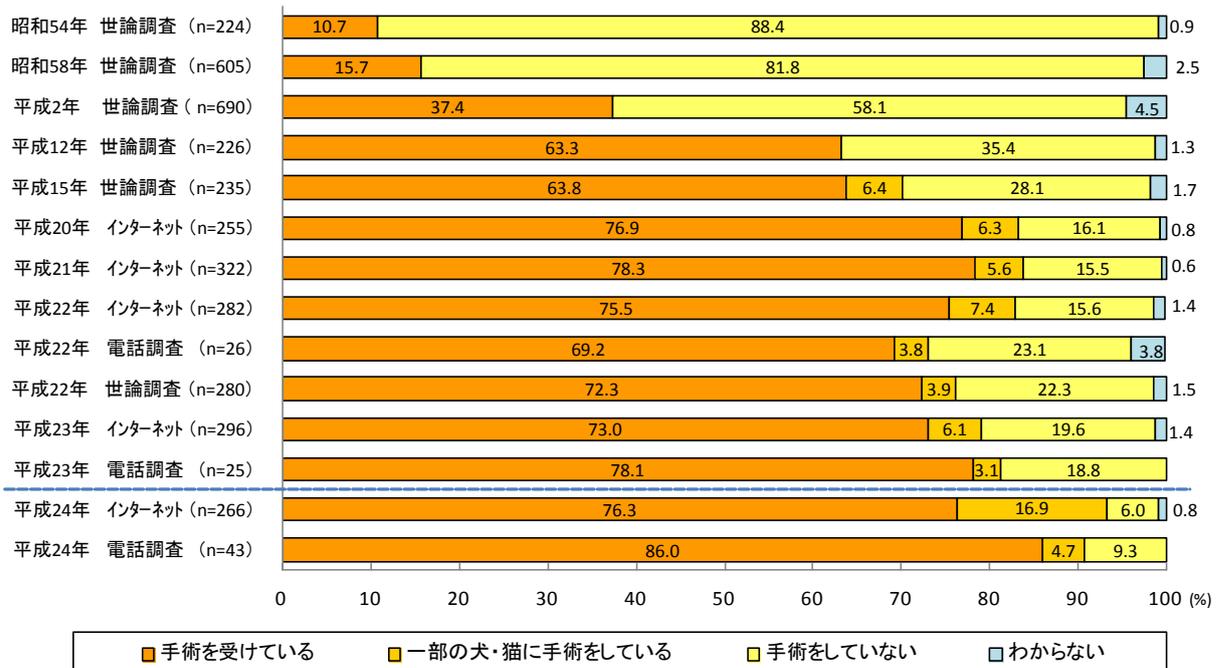
# 犬・猫の不妊去勢措置

- 犬の不妊去勢措置の実施率は増加する傾向で推移し、現在約 48%である（インターネット調査）。
- 猫の不妊去勢措置の実施率は増加する傾向で推移し、現在約 93%である（インターネット調査）。

## 犬の不妊去勢措置の実施率の推移



## 猫の不妊去勢措置の実施率の推移

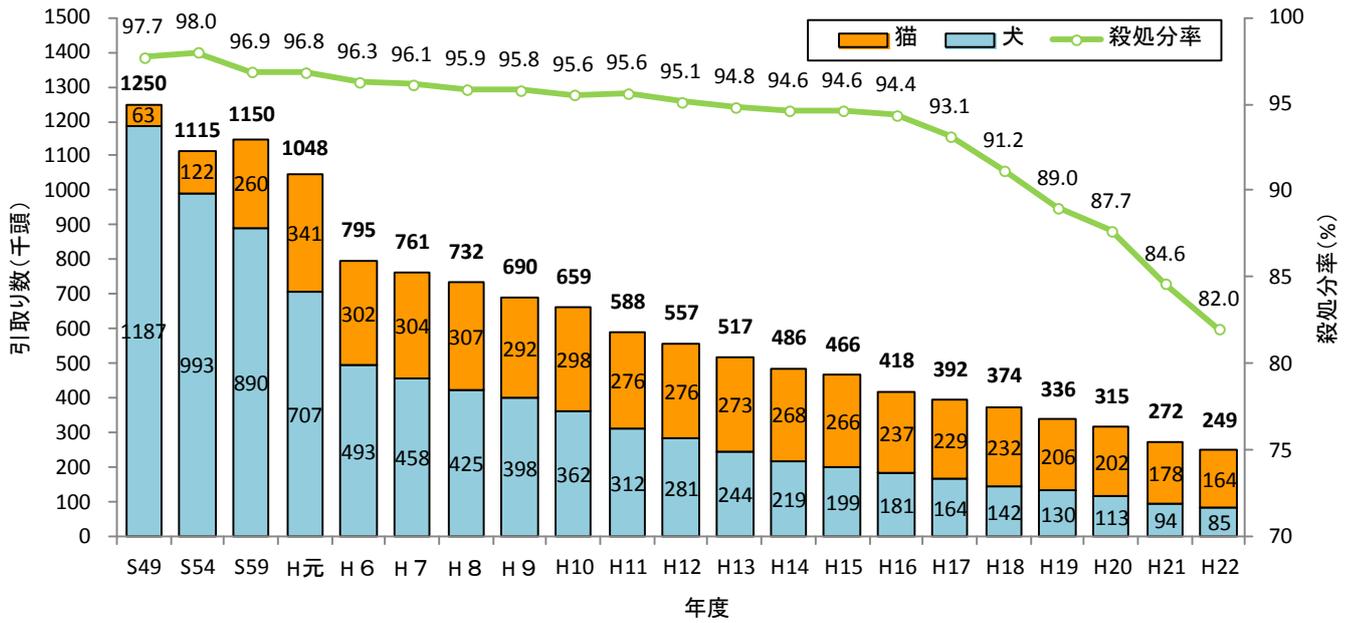


○昭和 54 年～平成 15 年、22 年 内閣府調べ（世論調査）      ○平成 20～24 年 環境省調べ

# 犬・猫の引取り、返還・譲渡

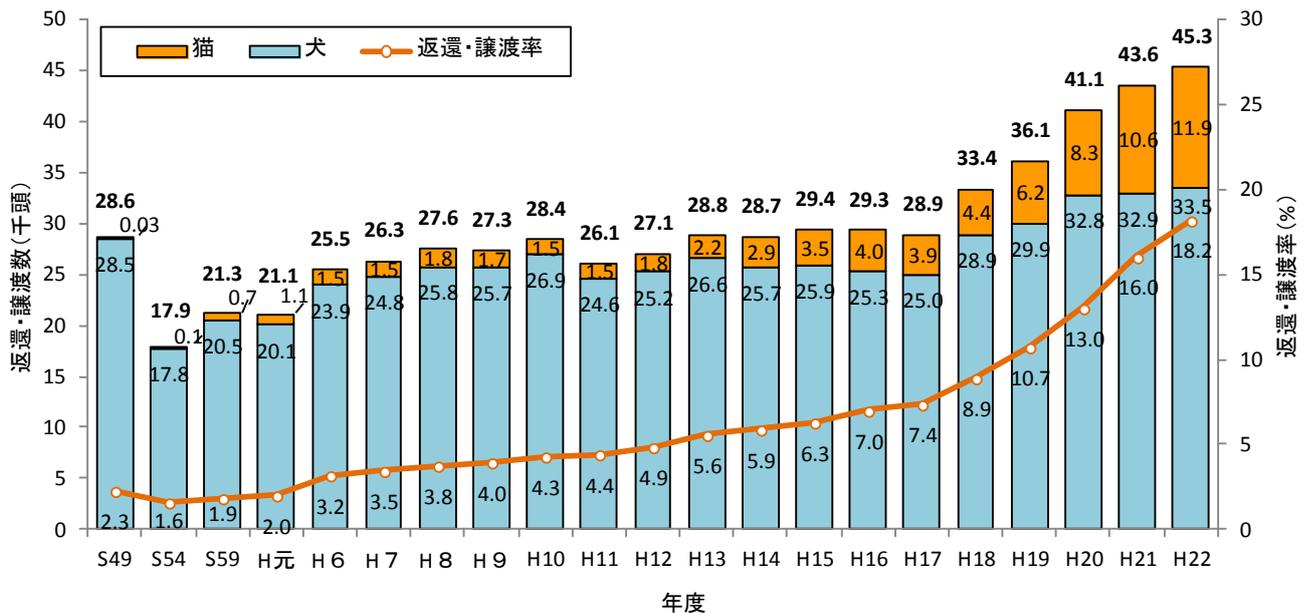
- 犬・猫の引取り数は、平成 16 年度と比べ約 40%減少 (H22 年度 約 24.9 万頭)。
- 犬・猫の返還・譲渡数は、平成 16 年度と比べ約 55%増加 (H22 年度 約 4.5 万頭)。
- 犬・猫の殺処分率は、平成 16 年度と比べ約 48%減少 (H22 年度 約 20.5 万頭)。

全国の犬・猫の引取り数の推移



平成17年度以前の犬の引取り数は、狂犬病予防法に基づく抑留を勘案した推計値

全国の犬・猫の返還・譲渡数の推移

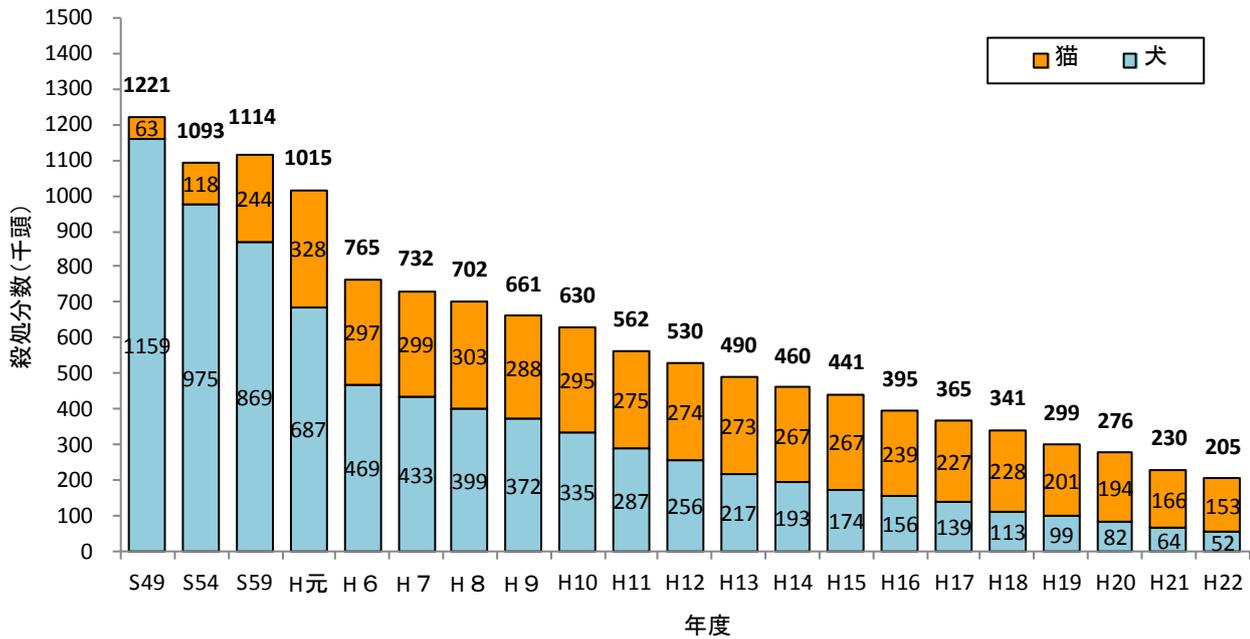


平成17年度以前の犬の引取り数は、狂犬病予防法に基づく抑留を勘案した推計値

○昭和 49 年度～平成 10 年度 総理府調べ

○平成 11 年度～平成 22 年度 環境省調べ

## 全国の犬・猫の殺処分数の推移



平成17年度以前の犬の引取り数は、狂犬病予防法に基づく抑留を勘案した推計値

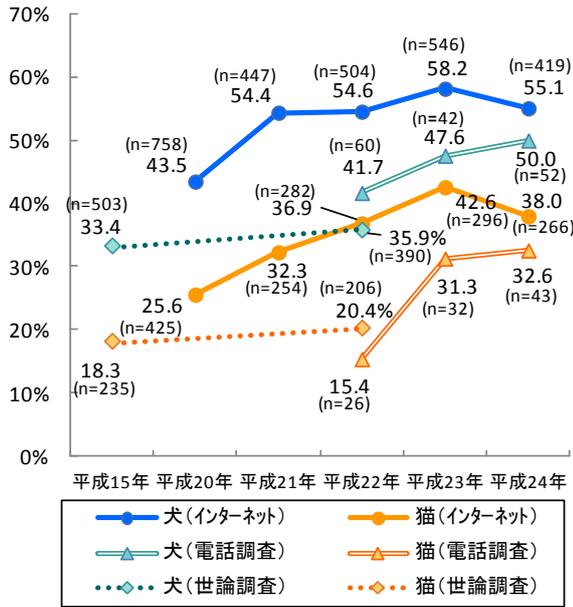
○昭和49年度～平成10年度 総理府調べ

○平成11年度～平成22年度 環境省調べ

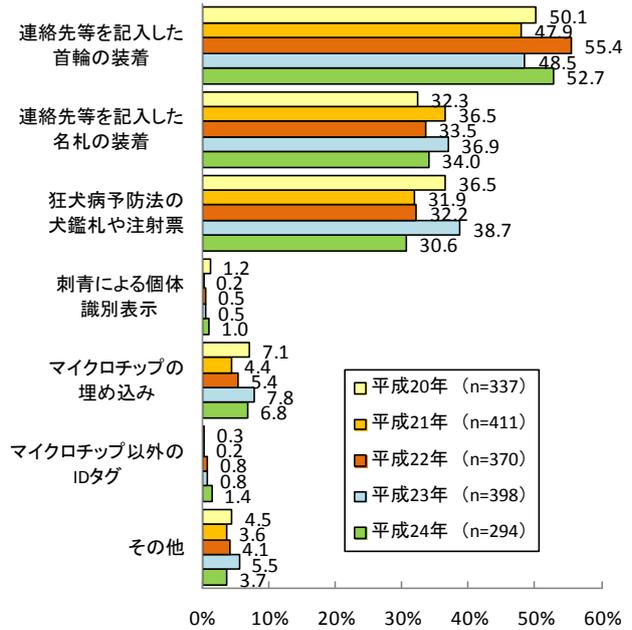
# 犬・猫の所有明示（個体識別）措置

- 犬・猫の所有明示措置の実施率は、近年横ばい傾向にあり、現在、犬で約 55%、猫で約 38%（インターネット調査）。
- 動物 ID 普及推進会議へのマイクロチップの登録数が約 60 万件に増加。

犬・猫の所有明示措置の実施率

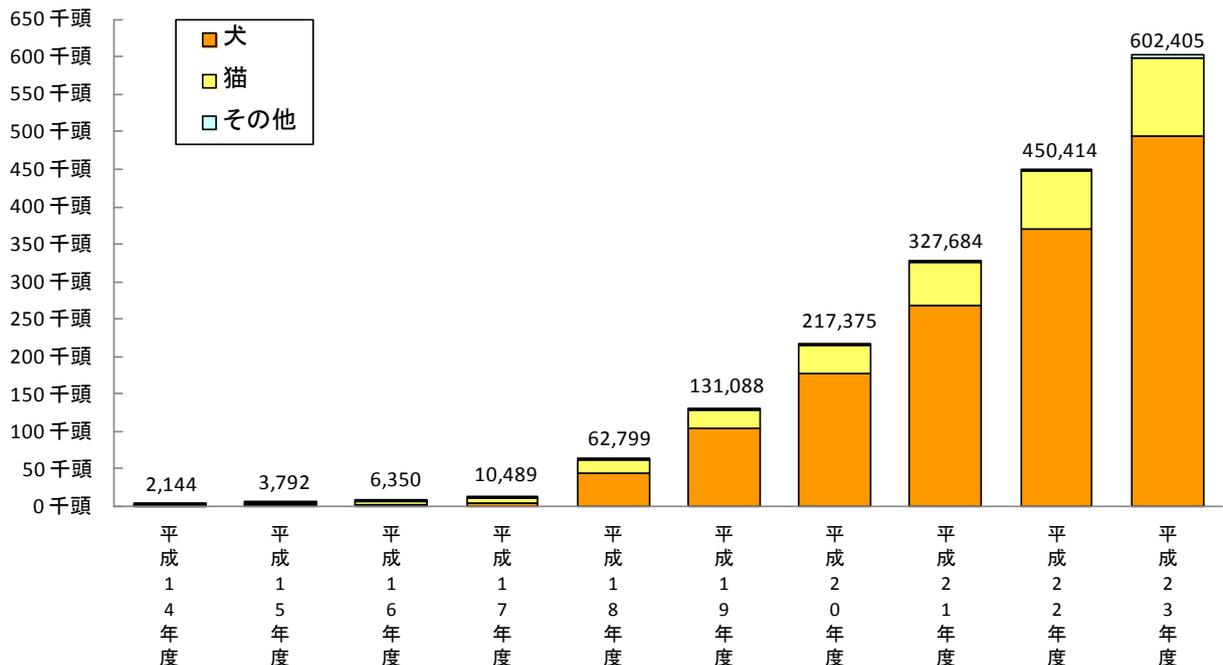


犬・猫の所有明示措置の方法



○平成 15、22 年 内閣府調べ（世論調査）      ○平成 20～24 年 環境省調べ

動物 ID 普及推進会議（AIP0）へのマイクロチップの登録数（累計）

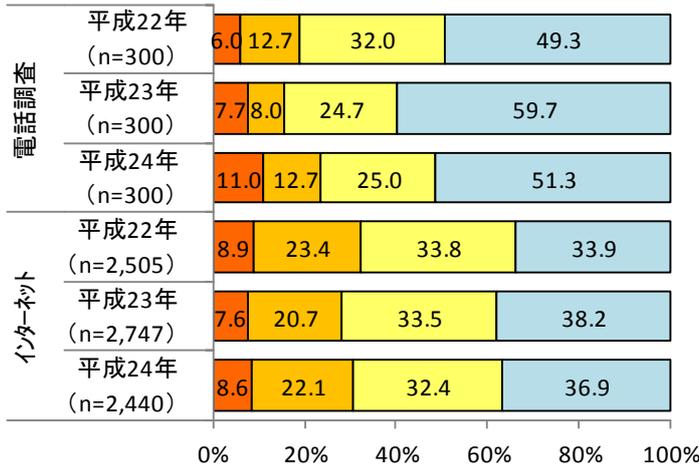


○動物 ID 普及推進会議（AIP0）調べ

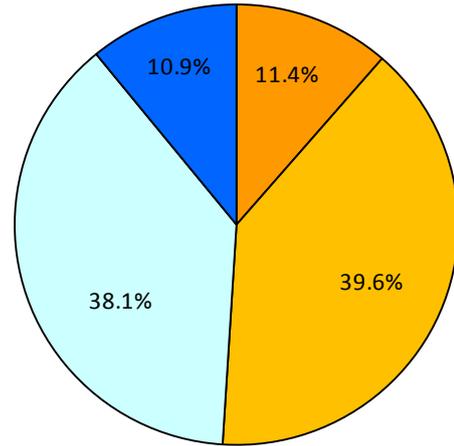
# マイクロチップへの賛否

○ ペット用マイクロチップは国民の約 63%に認知されており、約 51%がマイクロチップ施術に賛成している（インターネット調査）。

ペット用マイクロチップの認知度



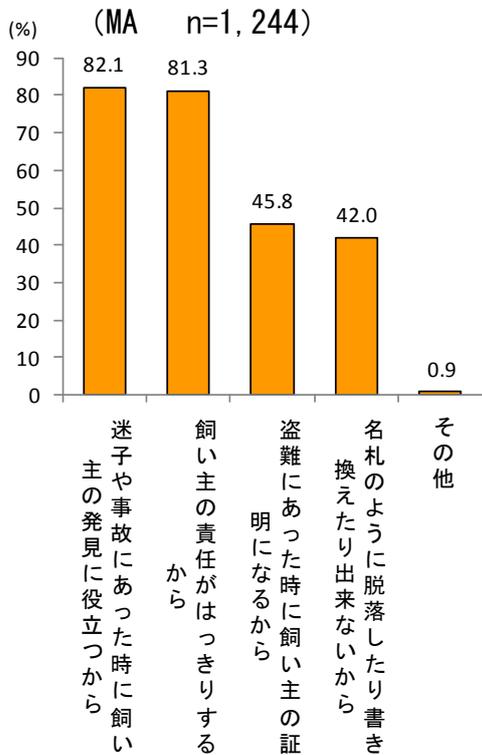
マイクロチップ施術に対する賛否  
(平成 24 年インターネット調査、n=2, 440)



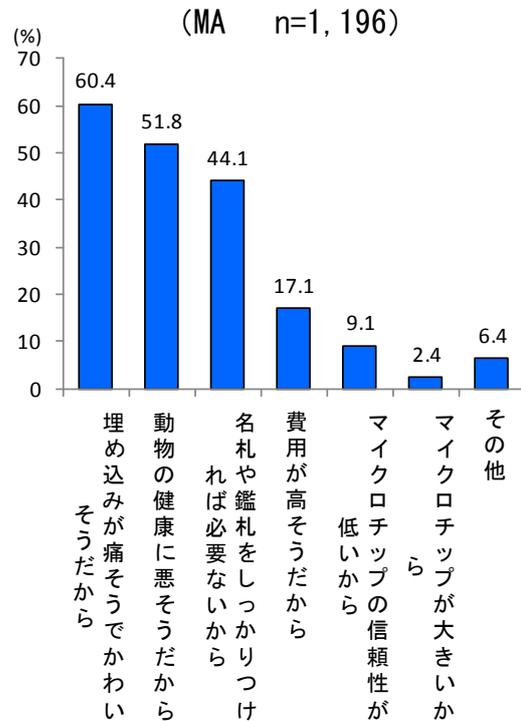
■ よく知っている      ■ ある程度は知っている  
■ 聞いたことはある      ■ 知らない

■ 賛成      ■ どちらかという賛成  
■ どちらかという反対      ■ 反対

マイクロチップ施術に賛成の理由（内訳）



マイクロチップ施術に反対の理由（内訳）

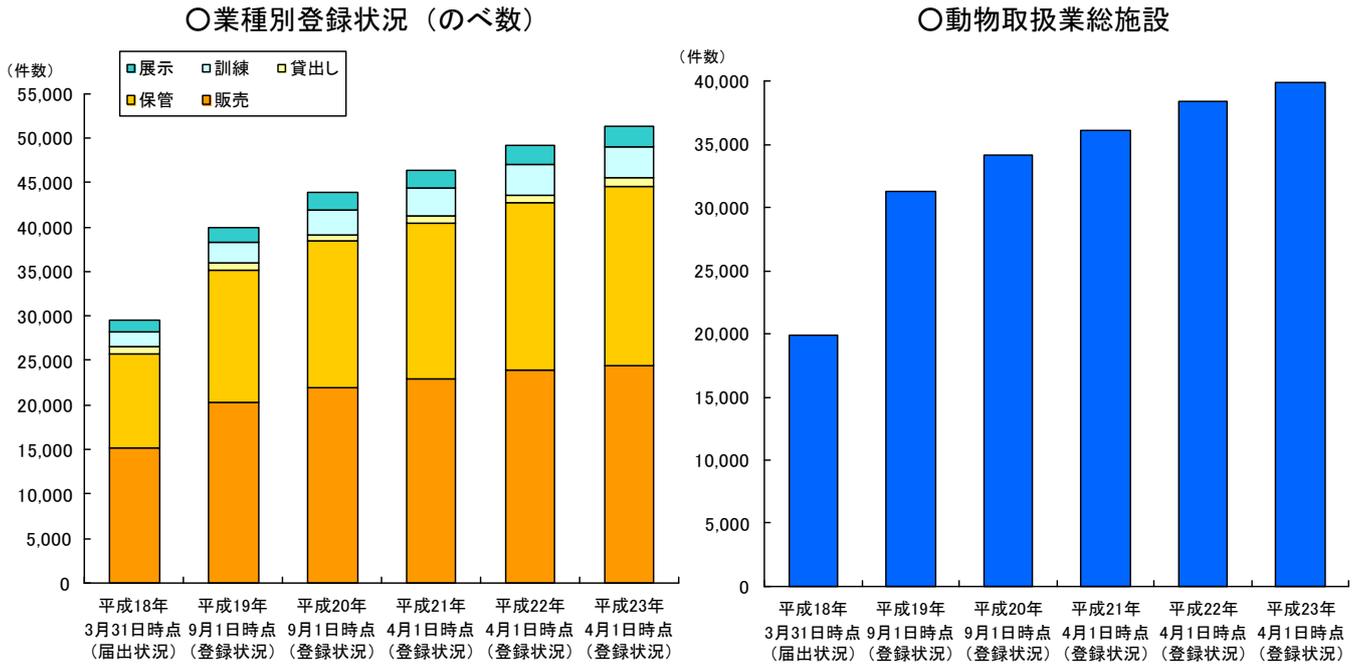


○環境省調べ

# 動物取扱業の登録状況

○ 改正動物愛護管理法によって動物取扱業の規制対象業種が拡大し、動物取扱業の登録施設数が約2倍に増加（平成23年4月1日現在で約40千件）。

## 動物取扱業の登録状況（改正動物愛護管理法施行前後の比較）



	動物取扱業種別内訳						動物取扱業 総施設数
	販売	保管	貸出し	訓練	展示	計(のべ数)	
平成18年 3月31日時点 (届出状況)	15,071	10,631	877	1,620	1,267	29,466	19,893
平成19年 9月1日時点 (登録状況)	20,195	14,986	677	2,460	1,652	39,970	31,292
平成20年 9月1日時点 (登録状況)	21,872	16,490	765	2,820	1,900	43,847	34,224
平成21年 4月1日時点 (登録状況)	22,875	17,493	853	3,058	2,001	46,280	36,101
平成22年 4月1日時点 (登録状況)	23,866	18,868	856	3,325	2,150	49,065	38,460
平成23年 4月1日時点 (登録状況)	24,299	20,162	975	3,544	2,281	51,261	39,897

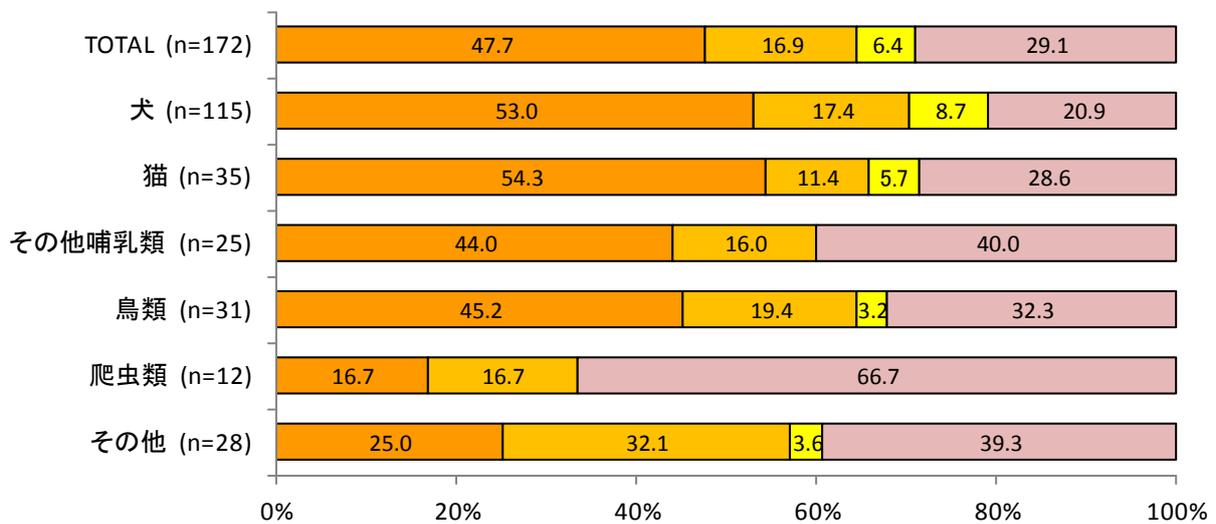
## 動物販売における事前説明

○ペット購入時の事前説明（口頭と文書による説明）の実施率は約 48%で、全国ペット販売店舗では約 81%であった。

○口頭で説明を受けた場合の満足度は約 79%で、説明の丁寧さや飼い方・健康状態などが理解できたことが満足につながっている。

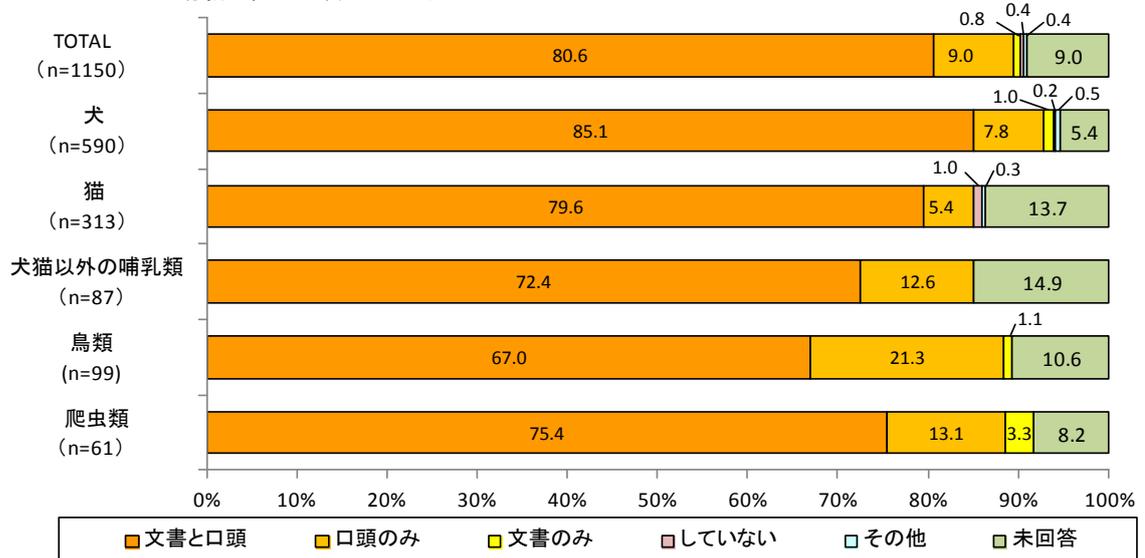
### ペット購入時の事前説明の有無

○一般市民（平成 18 年 9 月以降の購入者を対象とした平成 23 年度インターネットアンケート、111 名が購入した動物 172 頭ベース）



■ 文書と口頭で受けた ■ 口頭のみで説明を受けた ■ 文書のみ送付(紙、メール等) ■ 受けていない

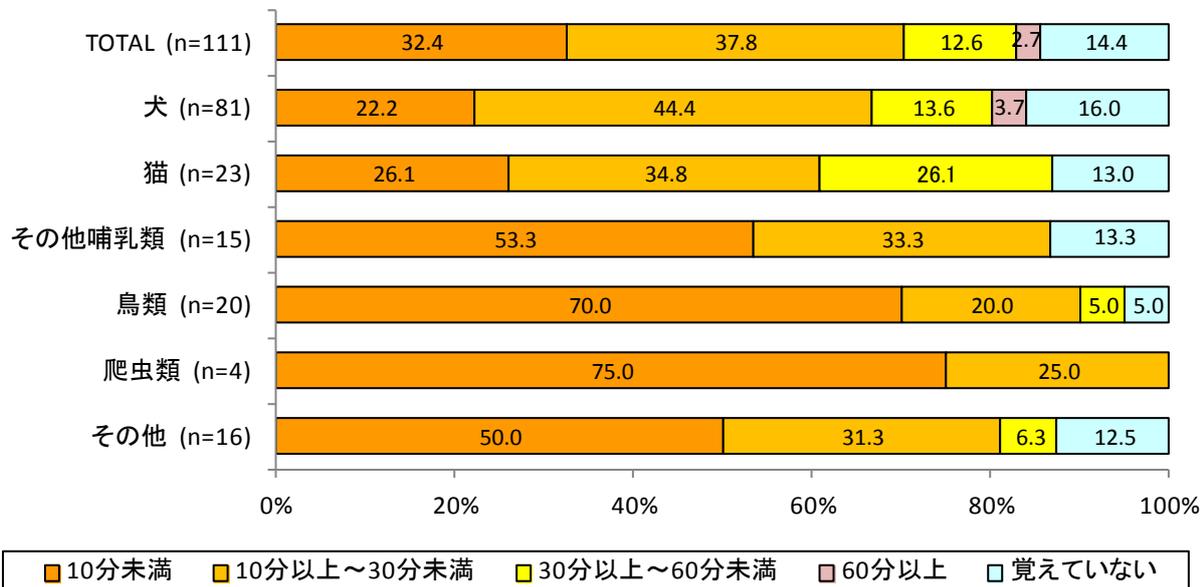
○動物取扱業者（ペット販売店舗における、平成 23 年度郵送アンケート、621 店舗で販売した動物 1,150 頭ベース）



## 事前説明を受けた長さ

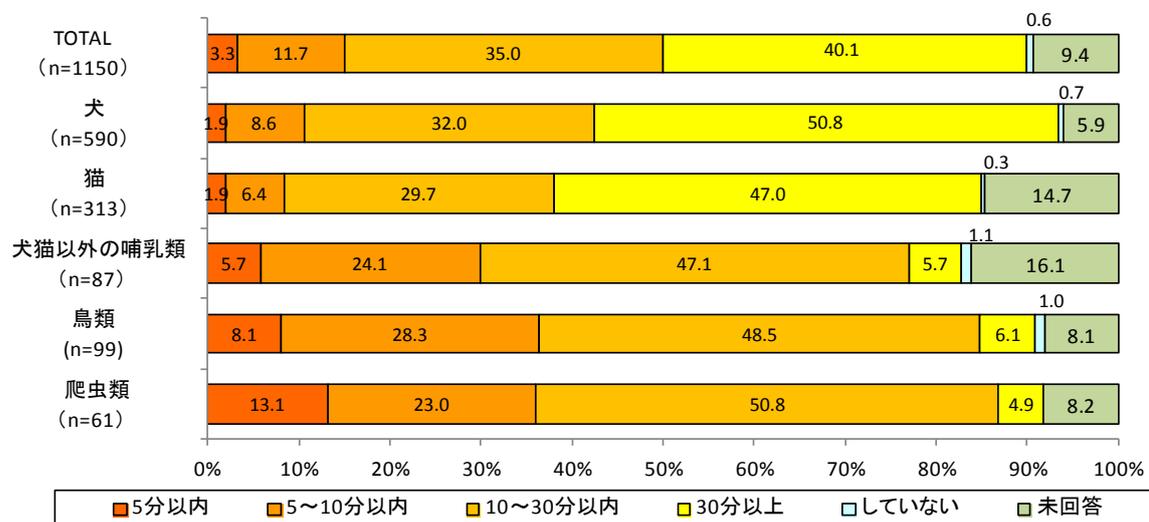
○一般市民(平成18年9月以降の購入者を対象とした平成23年度インターネットアンケート、111名が購入した動物172頭ベース)

\*全数は「文書と口頭で説明を受けた」n=85、「口頭のみで説明を受けた」n=27の合計



○動物取扱業者(ペット販売店舗における、平成23年度郵送アンケート、621店舗で販売した動物1,150頭ベース)

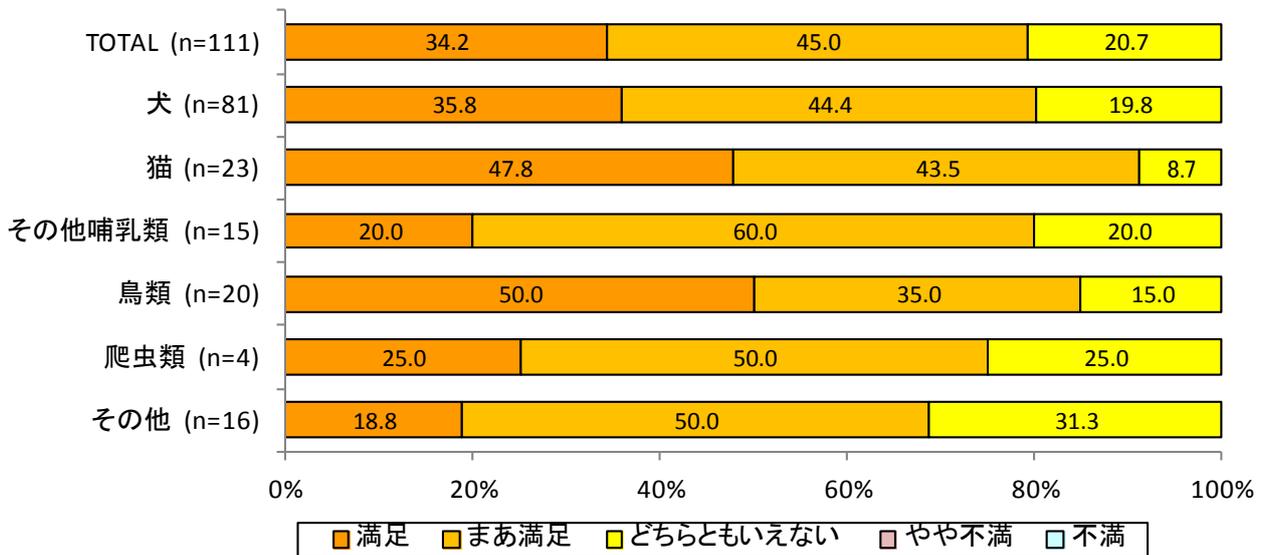
\*全数は「文書と口頭で説明を行った」n=927、「口頭のみで説明を行った」n=103の合計



## 事前説明の満足度

○一般市民（平成 18 年 9 月以降の購入者を対象としたインターネットアンケート）

全数は「文書と口頭で説明を受けた」 n=76、「口頭のみで説明を受けた」 n=26 の合計

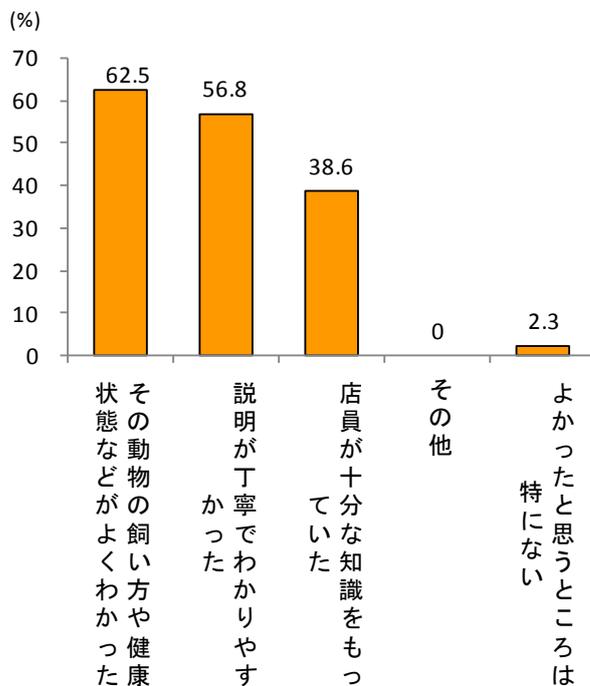


## 事前説明を受けて良かった点

○一般市民（平成 18 年 9 月以降の購入者を対象としたインターネットアンケート）

事前説明の満足度が「満足」、「まあ満足」、「どちらともいえない」を対象とした設問

n=88 : MA



注：満足度が「不満」「やや不満」の回答者は 0 件であった。

○環境省調べ

## 実験動物の適切な取扱

- 平成 24 年 3 月に、国内の実験動物取扱施設に関する概要把握、実験動物取扱施設における「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」の遵守状況等、実験動物の適切な取扱いについて、アンケート調査を実施した（※）。
- 実験動物取扱施設のうち、約 91%が「動物実験の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」の内容を知っている。
- 約 76%の施設で基準内容に即した指針や要綱等を策定しており、そのうち約 91%の施設で実験動物の殺処分に関する規定を策定、約 92%の施設で指針等の遵守に関する指導を行う委員会等を設置している。

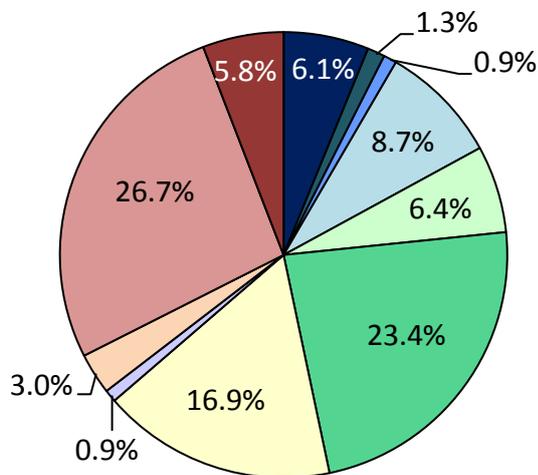
### ※実験動物に関するアンケート調査概要

- ◆対 象：動物実験施設を有する可能性がある団体等（約 3,515 団体）
- ◆調査方法：郵送、電子メール
- ◆有効回答：1,905 件

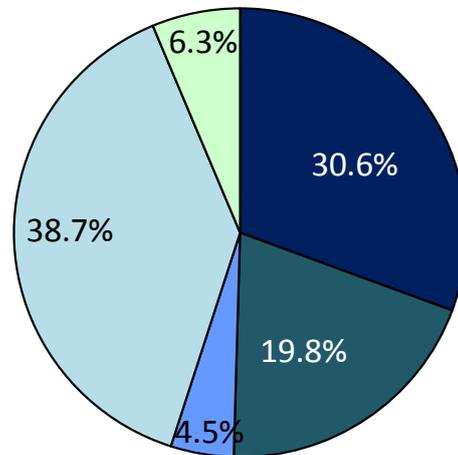
### 動物実験施設を有する可能性がある団体等の種類（アンケート対象の内訳）

○全体（n=1905）

○その他内訳（n=111）



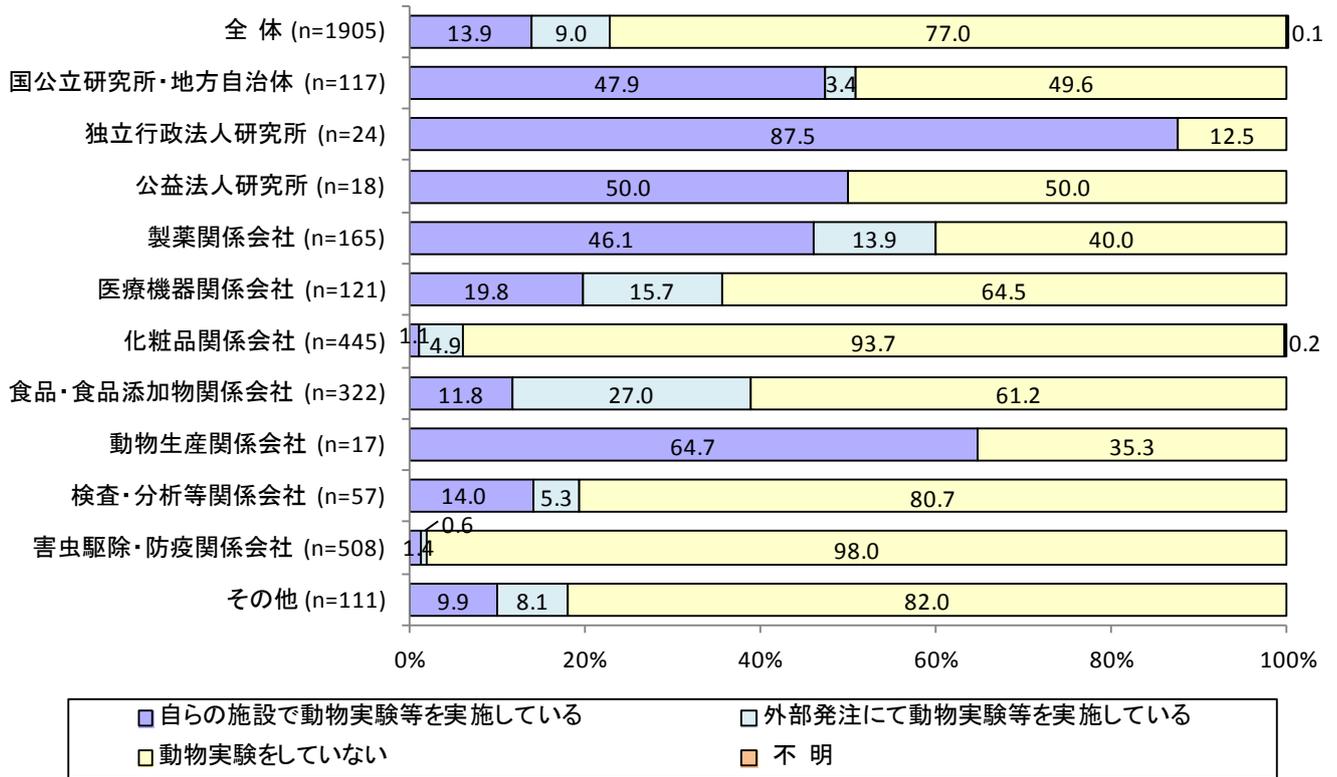
■国公立研究所・地方自治体	(117)
■独立行政法人研究所	(24)
■公益法人研究所	(18)
■製薬関係会社	(165)
■医療機器関係会社	(121)
■化粧品関係会社	(445)
■食品・食品添加物関係会社	(293)
■動物生産関係会社	(17)
■検査・分析等関係会社	(54)
■害虫駆除・防疫関係会社	(508)
■その他	(111)



■流通・販売業	(34)
■その他製造業	(22)
■動物実験受託	(5)
■その他	(43)
■無記入	(7)

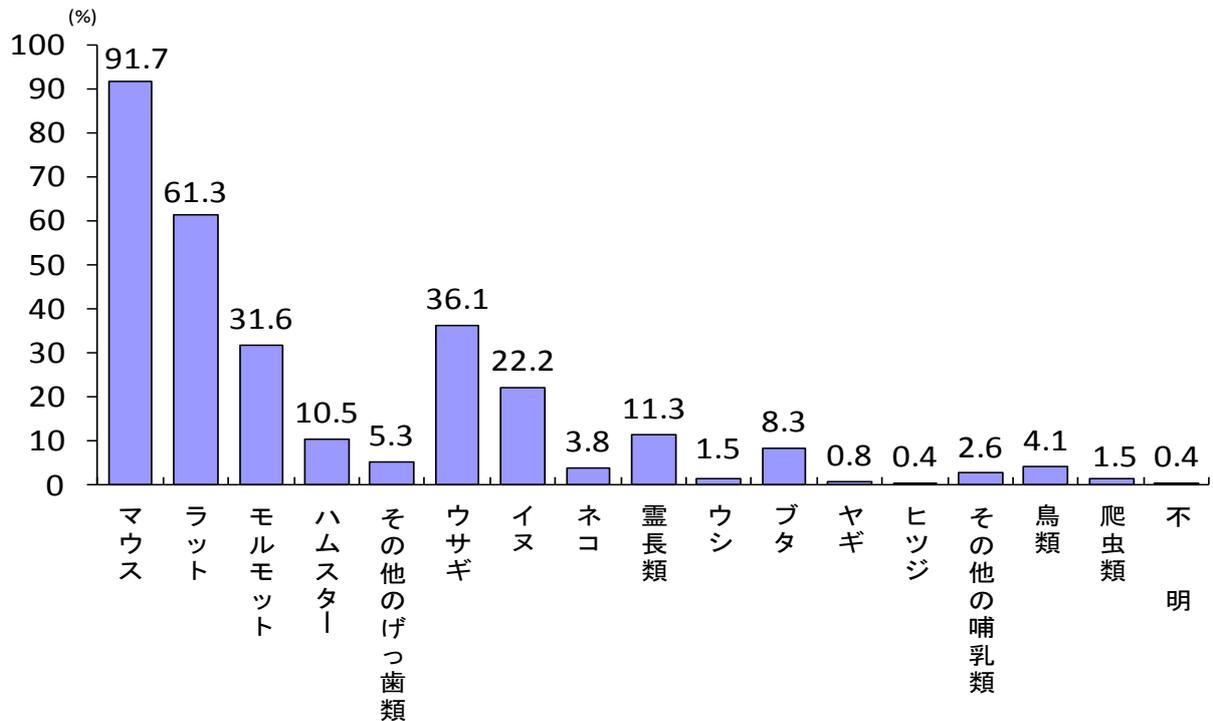
## 動物を用いた実験の有無

(n=1,905)



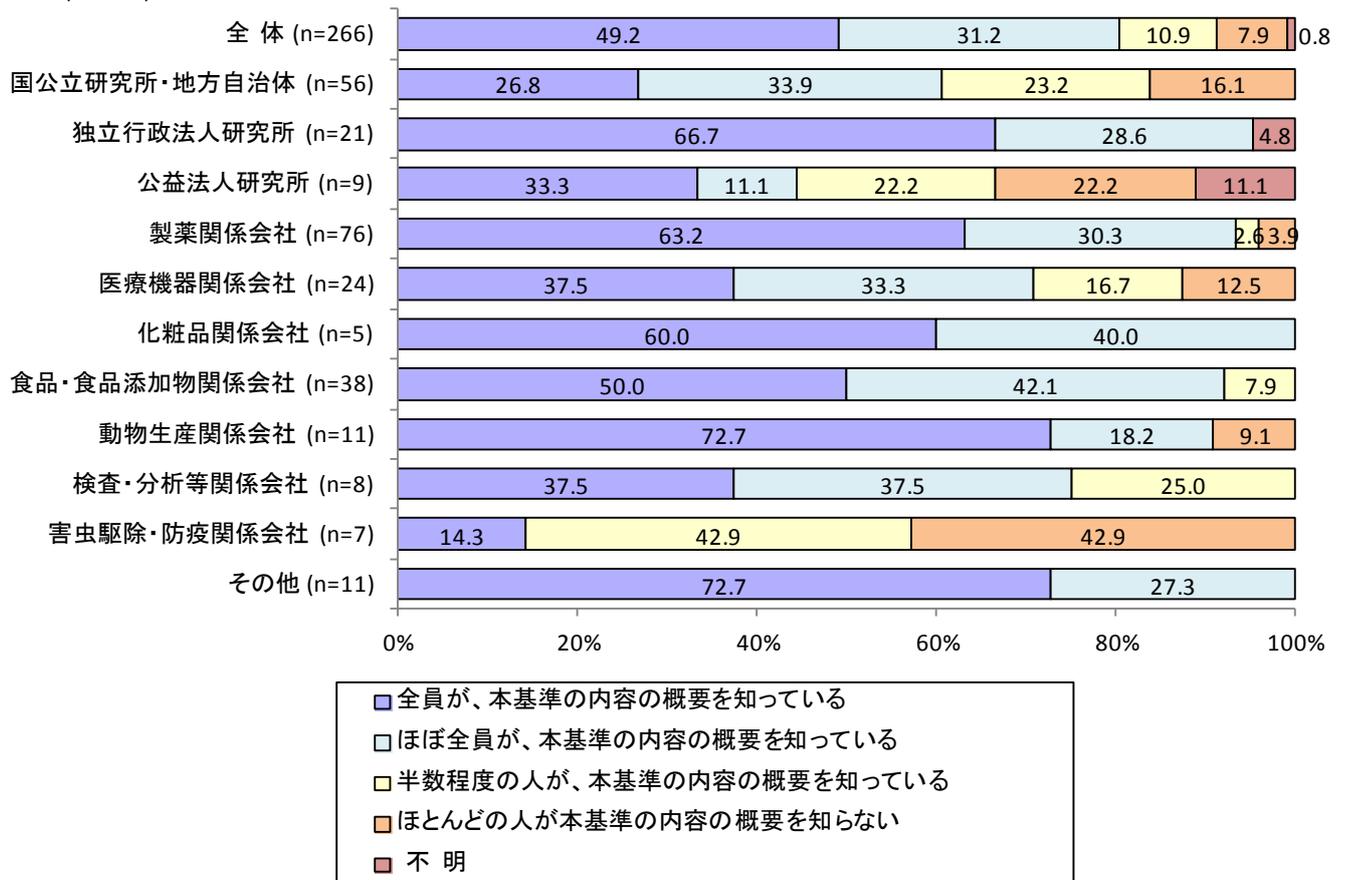
## 実験の為に購入・生産・飼養等した動物種

(MA n=266)



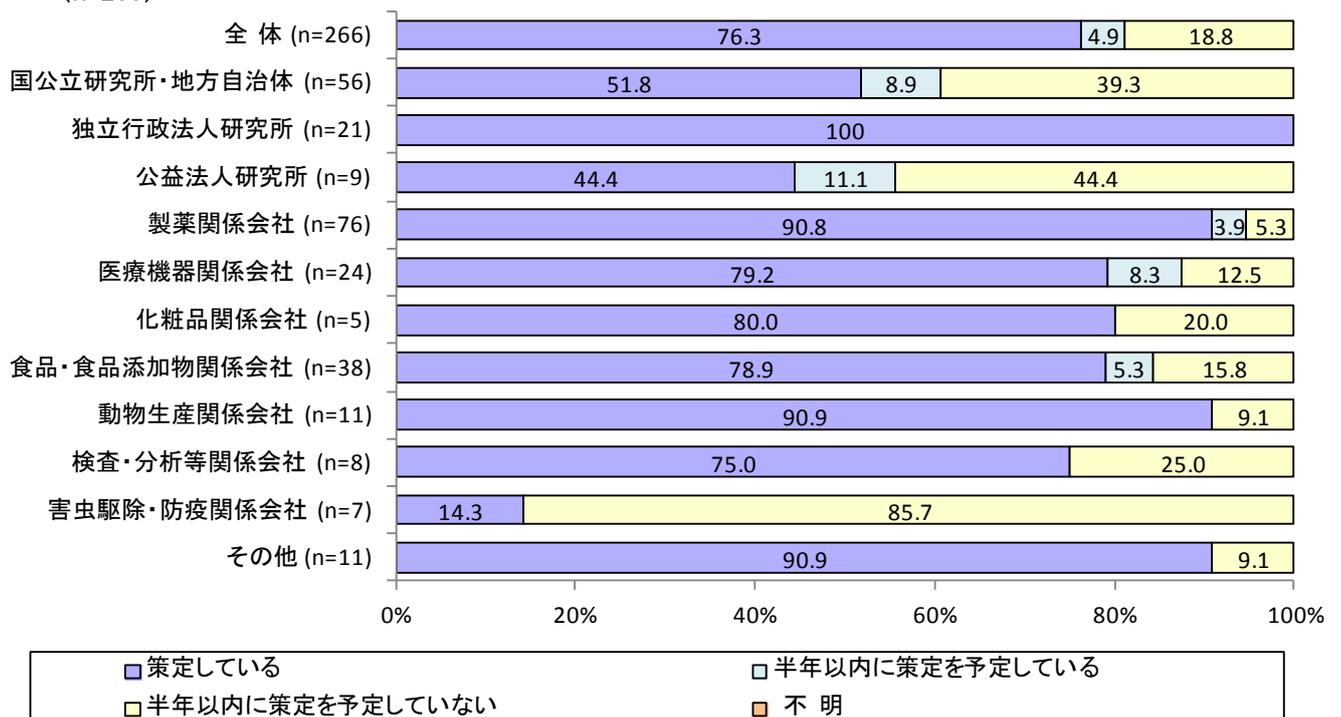
## 「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」概要の認知度

(n=266)



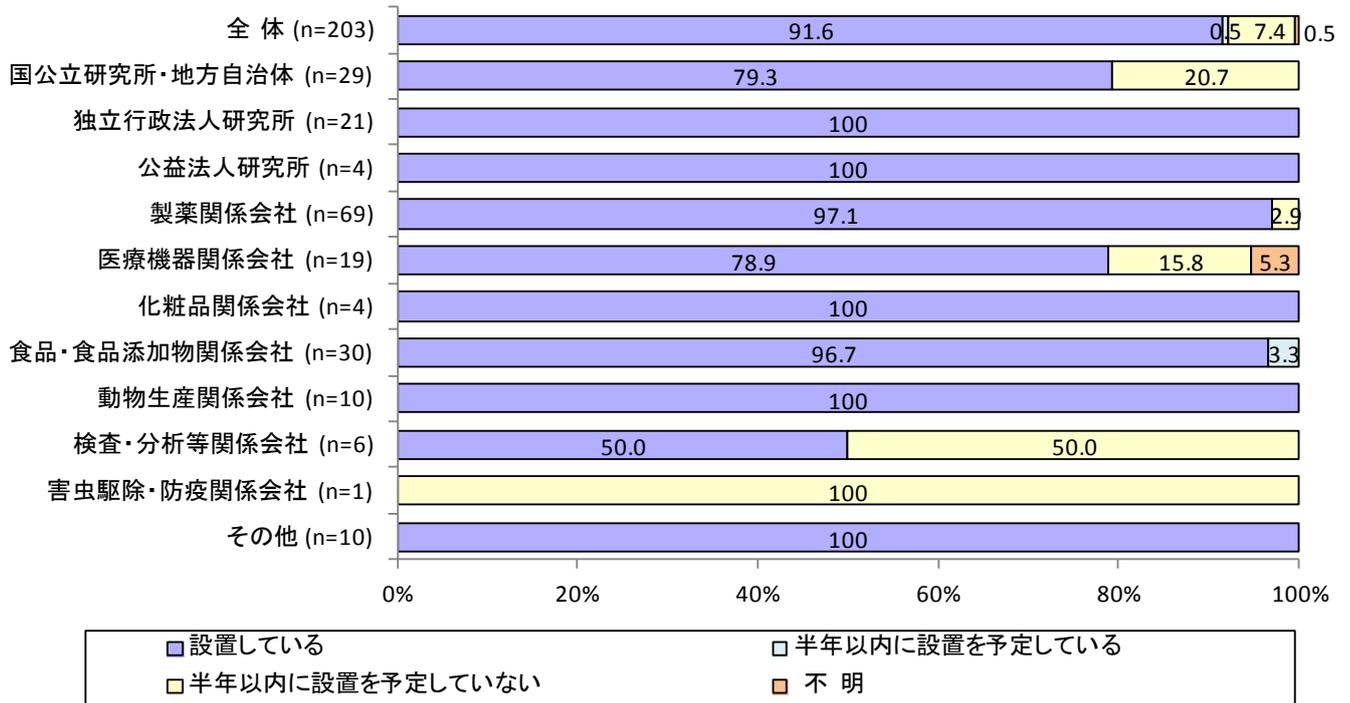
## 基準内容に即した指針や要綱等の策定について

(n=266)



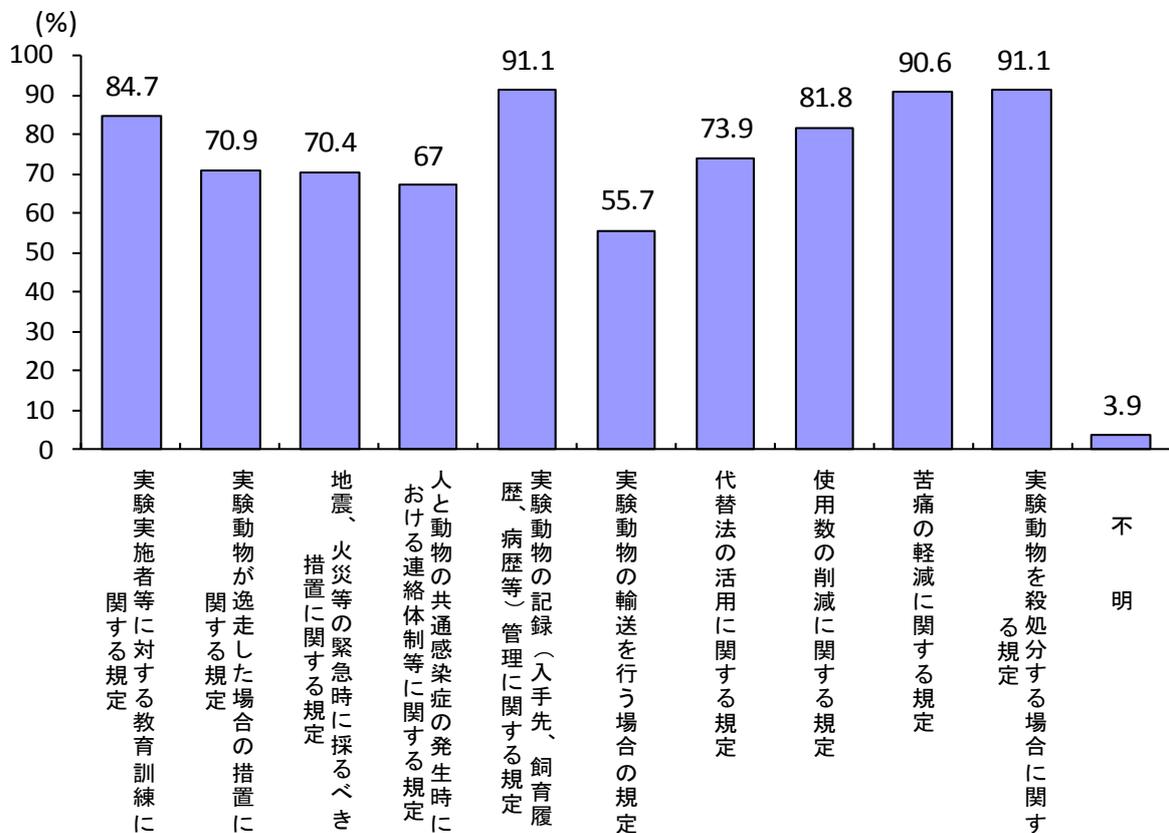
## 施設で策定した指針等の遵守に関する指導を行う委員会等の設置の有無

(n=203)



## 策定した指針等の規定内容について

(n=203)

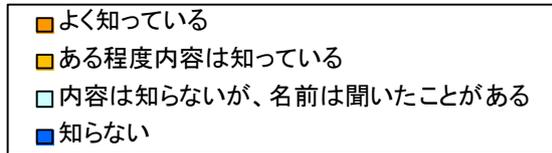
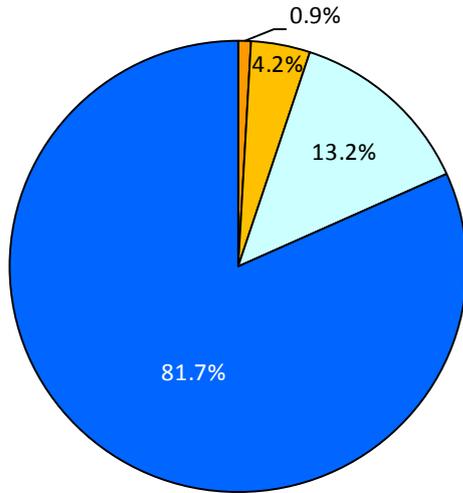


○環境省調べ

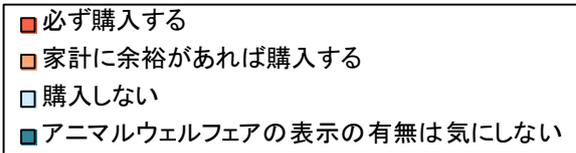
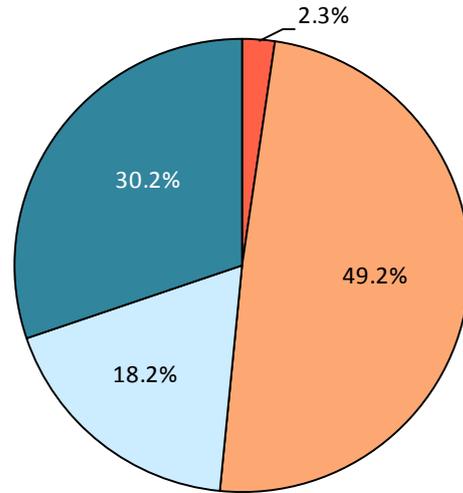
## アニマルウェルフェアに関する意識

- アニマルウェルフェアの認知度は2割未満だったが、家計に余裕があればアニマルウェルフェア製品の購入する意志を示したのは約49%を占めた。
- アニマルウェルフェアの考え方への賛否については、約42%が概ね賛成しているが、約40%は、わからないと回答した。

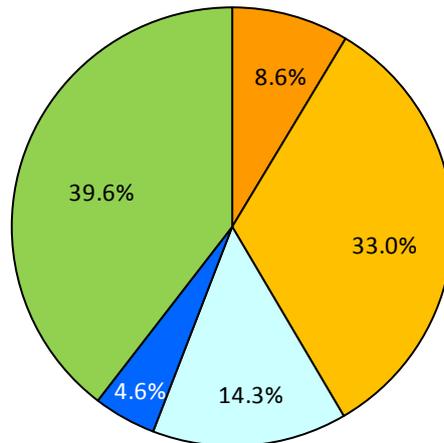
アニマルウェルフェアの認知度  
(平成24年インターネット調査、n=2,440)



アニマルウェルフェア商品購入意思  
(平成24年インターネット調査、n=2,440)



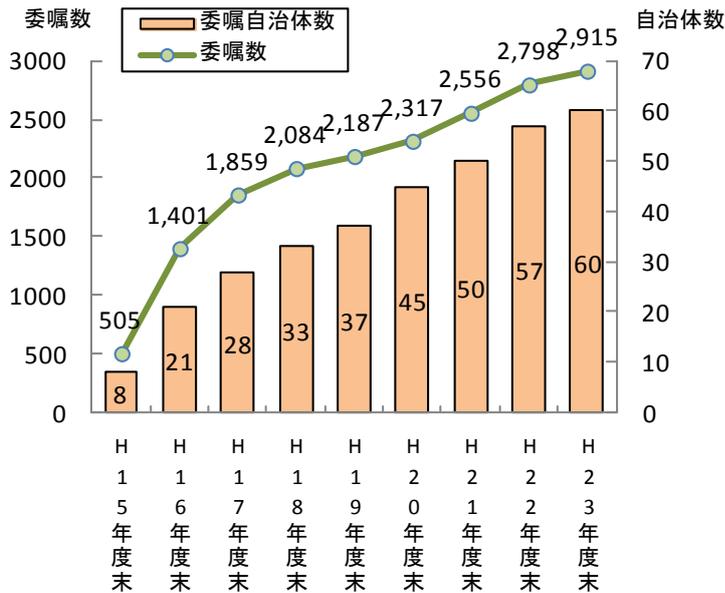
アニマルウェルフェアの考え方への賛否  
(平成24年インターネット調査、n=2,440)



# 動物愛護推進員と動物愛護推進協議会

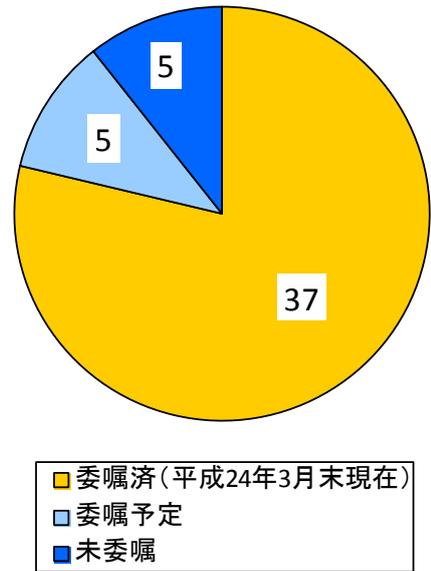
- 動物愛護推進員の委嘱数は年々増加し、60自治体（37都道府県、23政令市・中核市）で約2,900人が委嘱されている。
- 動物愛護推進協議会の設置数は年々増加し、49の協議会（35都道府県、14政令市・中核市）が設置されている。

動物愛護推進員の委嘱状況

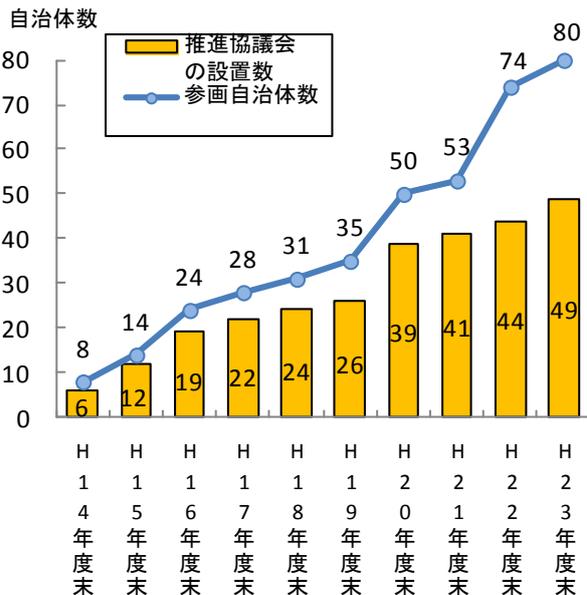


※対象は都道府県、政令市、中核市（107自治体）

動物愛護推進員の委嘱状況  
(都道府県)

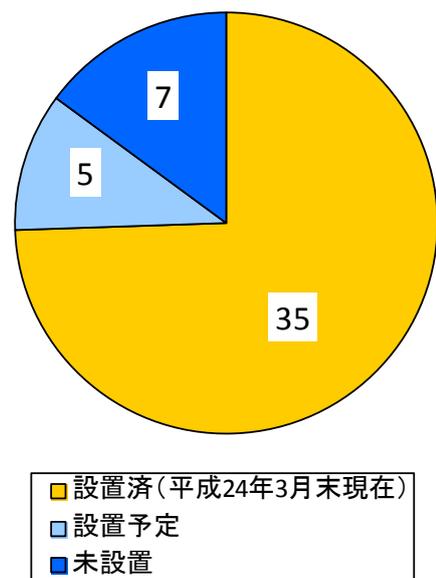


動物愛護推進協議会の設置状況



※対象は都道府県、政令市、中核市(107自治体)

動物愛護推進協議会の設置状況  
(都道府県)



○環境省調べ